

【修士課程】 生命科学研究科統合生命科学専攻・高次生命科学専攻

DP(1) 幅広い学識を備え、専攻分野における研究能力と、高度な専門性を必要とする職業を担うための高度な専門知識を習得している。	DP(2) 生命科学分野の学術研究における高い倫理性と責任感を備えている。	DP(3) 生命科学分野の学識と技術・能力を基盤として課題・テーマを設定し、それを解決・展開できる適切な研究推進能力を有している。	DP(4) それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるための適切な論理的説明能力とコミュニケーション能力を有している。	DP(5) 執筆した修士論文が論理的かつ明快に記載されており、さらに、研究目的の設定、それに対する実験の計画と遂行、その実験結果に対する議論が、適切になされている。	
修士論文					
合計: 30 単位 + 修士論文					
2 年次 ↑ 1 年次 修士課程	*海外研究プロジェクト1	(E) Cancer Biology	実験及び演習 (各分野) 必修科目 20 単位	副指導教員による助言 単位外活動	実践的 プログラム 英語
	*染色体生命科学特論	* (E) Cellular & Molecular Neuroscience			国際 学生 セミナー
	*植物生命科学特論	* (E) Global Frontier in Life Science B			海外大学 短期派遣 プログラム National Taiwan University Montpellier
	*シグナル伝達学特論	(E) Advanced Molecular and Cell Biology II			
	*多細胞体ネットワーク特論	* (E) Basic English Discussion in Life Science II			
	*疾患・免疫生命科学特論	(E) Global Frontier in Life Science A			
	*動物発生・再生特論	(E) Advanced Molecular and Cell Biology I			
	*実験系研究者のための 数理・統計・計算生物学	* (E) Basic English Discussion in Life Science I			
	*ゲノム生命科学特論	* (E) Life Science: From Basics to Applications, From Molecular Biology to Systems Biology			
	(必) 研究の原点とルール	★研究倫理・研究公正(生命系) 0.5単位			
必修科目 1 単位	選択科目 9 単位以上 *: 1 単位科目、他 2 単位科目 (E): 英語での講義科目				
(参考) 学部で修得しておくべき科目: 細胞生物学・分子生物学・生化学 等					

★: 0.5単位。その他大学院共通科目の0.5単位科目と併せて1単位を修了単位として認める。
(詳細は学修要覧18ページ)